

大阪市生涯学習ルーム 誕生物語



みなさん、私のことはご存知ですか？そうです「スタートル」です。私は、生涯学習ルームのマスコットキャラクターとして誕生したのですが、いつ・なぜ誕生したのか知っていますか？そして、そもそも“生涯学習ルーム”って何か知っていますか？このアニメは、「生涯学習ルーム」や「スタートル」ができる時のお話を簡単にまとめたものです。何か、新しい発見ができるかも知れませんね。

Q. そもそも「生涯学習」ってなあに？



①「生涯学習」とは、いつでも・どこでも・だれでも、家庭・学校・地域・職場などあらゆる生活の場において、一人ひとりが自由に、自らテーマを選んで、自分にあった手段や方法を選びながら、生涯を通して学んでいくことです。



②そして大阪市としては、それらを通して、学んだ知識や経験を自分だけのものにせず、地域や社会に返していき、住民主体のまちづくりを進めることを目指しています。

なるほど！住んでいる人が、自分たちの手で「まちづくり」を進めるなんて、素晴らしいですね。



③当時は、「生涯学習を広げる」ということと、「地域の学校としての、学校の有効活用」が重要な目標となっていました。“地域の方々の身近なところで学習の場を”ということで『生涯学習ルーム事業』が実施されました。

Q. なぜ、すべての小学校に、生涯学習ルームを開設し、生涯学習事業をする必要があったの？



やはり、身近なところに学びの場があることは、嬉しいことですね。



Q. 最初に地域の方々に、ルームの立ち上げの協力を求めたときに、地域の方々の反応はどうでしたか？

④当初は「中学校区に1か所」の開設予定でした。中学校は、クラブ活動などで夜間まで生徒が利用することで、場所や時間の確保が難しいので、実施は中学校区の中の1つの小学校で事業実施することになりました。ということは、同じ中学校区内の小学校でも実施していない小学校が出てくるわけで、その小学校区の住人の方々から、「私たちの校区でも実施してほしい」という声が出てきました。それならば！ということで、平成4年に、小学校区単位で「生涯学習ルーム事業」を実施することになったのです。

⑤ルームの開設に向け、地域の活動の状況を調べ、その後、放課後や夜間、日曜日でも使える教室があるかを調べました。その当時、開設できそうな学校へ行き、校長先生へ事業趣旨を説明、そして、学校から地域の方々へ声をかけてもらいました。ルーム事業の特徴は「地域の方々による主体的な運営」ですので、ご理解いただくためにいろいろ話し合いました。



Q. 一番最初の年（平成元年）にルームを実施した校区は、どのくらいなの？そして、ルームのお世話をしてくられた方は、どのような方たちですか？



⑥一番最初（平成元年）に実施した校区は、13校区です。運営については、運営委員会を設置していただき、「管理指導員」1名と、「講座世話人」2名を地域の方から選んでいただきました。ルーム事業も3年くらいすると、講座内容が固定化してしまうなどの課題ができました。管理指導員も講座世話人も、講座の企画は初めての方が多からず。そこで、管理指導員と講座世話人としての研修を新たに制度として位置づけ、平成5年から、生涯学習ルームを拠点に地域の生涯学習を担っていくコーディネーターとしての『生涯学習推進員養成講座』をスタートしました。



⑦そして、この平成5年に、もう一つ「生涯学習ルーム」に欠かせないものが誕生しました！それは…

それは!?



わたくし「スタートル」で～す!



⑧私は、生涯学習ルームをみなさんに知ってもらい、身近なものとして受け入れてもらえるよう、親しみやすいキャラクターとして誕生しました。各ルームにキャラクターの募集を呼びかけ、「無理をせず、急がず、ゆっくりと生涯学習ルームを広げていく」という亀をモデルとして誕生したのです。（右がそのときの原画です！）

そして、平成5年11月20日・21日に実施された「作品展示交流会」で愛称を募集しました。“スタート”と、亀の英単語“タートル”を組み合わせでつけた名前が『スタートル』！（男の子でも女の子でもないの、“君”も“ちゃん”もつけないんです。）こうして、“亀の歩みのように、ゆっくりこつこつと楽しく生涯学習をはじめましょう”という意味も込められた、生涯学習ルームのマスコット・キャラクター「スタートル」が誕生しました。わたくし「スタートル」は、“スタートル・バッジ”をはじめ、いろいろなところから、みなさんを見つめています。イベントのときは駆けつけたりもします。みなさんから愛されるキャラクターに成長できたかな？これからもよろしくお願いします！



募集時の原画